



# 文化

施策  
1

## 文化遺産の整備・活用

成果指標名 — 文化財の保護と活用に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合

現状値  
(令和元年度)

一般市民 33.9%



目標値  
(令和5年度)

一般市民 37.9%



取組方針  
(1)

文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。

文化遺産を適切に保存しながら、魅力ある歴史文化を体感できるまちづくりを目指して、市民とともに観光や学習など多様な視点を活かした文化遺産の活用を図ります。

### 主な取組

#### ① 文化遺産の適切な保存

文化遺産の適切な保存を行うため、指定文化財の修理等や埋蔵文化財の発掘調査並びに文化財保存活動への支援とともに、未指定文化財を含めた総合的な文化遺産の保存に取り組みます。

重点

#### ② 文化遺産(史跡浦尻貝塚、史跡泉官衙遺跡など)の整備・活用

史跡浦尻貝塚や史跡泉官衙遺跡などに代表される文化遺産の整備・活用を計画的に進めています。また、案内標示を含めた魅力ある観光ルートづくりによる観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進するため、文化遺産を活用します。

施策  
2

## ふるさと教育の充実

### 成果指標名 — 博物館利用者数

現状値  
(平成 30 年度) 13,308 人 ➤ 目標値  
(令和 5 年度) 13,850 人 ➤

### 成果指標名 — 郷土を愛する心を育む教育に「満足」「やや満足」と回答する一般市民の割合

現状値  
(令和元年度) 一般市民 21.7% ➤ 目標値  
(令和 5 年度) 一般市民 31.7% ➤

取組方針  
(1)

子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。

子どもから大人までの多様なターゲットに向け、地域の自然、歴史に親しみ、学ぶことができる企画展、講座、イベント等を開催し、魅力ある地域文化の醸成を図ります。

### 主な取組

#### ① 多様な博物館事業の推進

ふるさとの特徴や魅力を伝えるため、野馬追・自然・考古・歴史・民俗に関する企画展示や各種講座・体験学習を開催し、市民の多様な学習意欲に応えます。

#### ② 博物館常設展示の見直し

平成7年の開館から20年以上が経過したことから、新たな知見や情報を加えた常設展示の見直しを行います。

取組方針  
(2)

ふるさとに継承される報徳精神を活かしたまちづくり、ひとづくりを進めるため、報徳仕法の学びの場を充実します。

ふるさとづくりの指針として江戸時代の災害からの復興に大きな功績があった報徳仕法の多様な学びの場の創出に取り組みます。

### 主な取組

重点

#### ① 報徳仕法に係る学習機会の提供

報徳精神を継承し、現代的視点で見つめ直して、「心豊かなまちづくり・ひとづくり」を進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供します。

施策  
**3**

## 地域文化の継承

### 成果指標名 — 民俗芸能団体数

現状値  
(平成 30 年度)

62 団体



目標値  
(令和 5 年度)

**62 団体**

取組方針  
(1)

民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、  
新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。

地域活動や学校教育と連携し、民俗芸能など伝統文化の継承を支援し、地域の民俗を後世に伝えます。

### 主な取組

重点

#### ① 民俗芸能の継承や活動への支援

民俗芸能発表会を開催するとともに、相馬流山踊等の民俗芸能の保存伝承に取り組む団体の活動経費について支援します。

#### ② 相馬野馬追の継承や活動への支援

相馬野馬追の原点である「野馬懸」を後世へ伝承するため、「お小人」の育成などの環境整備を支援します。

取組方針  
(2)

震災資料を含めた歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用を推進します。

東日本大震災に関連する貴重な資料を「地域の歴史」として後世に伝承するため、適切な保存・活用に取り組みます。

### 主な取組

重点

#### ① 震災資料を含めた歴史・民俗資料等の適切な収集・保存

震災資料を含めた歴史資料や民俗資料を適切に収集・保存するため、文化財資料収蔵施設を整備します。

#### ② 東日本大震災記録誌の編さん

東日本大震災関連の事象・資料を網羅する「震災記録誌」を刊行し、学校教育（防災教育）や生涯学習（出前講座）で活用します。